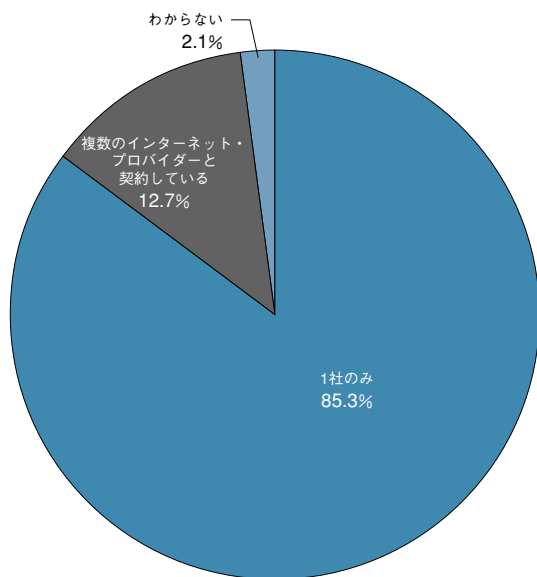


## ISP

## 大半のユーザーは1社だけの契約

資料2-1-13 契約しているISP数 N=1,600

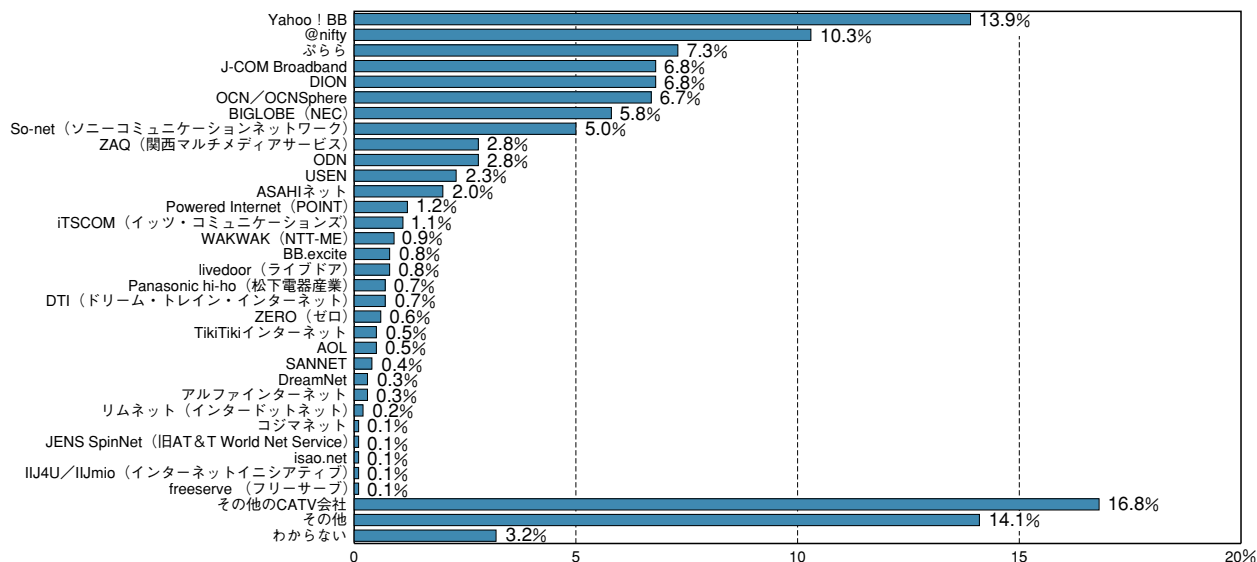


©impress,2005

契約しているISP数は、大半が「1社のみ」だが、「複数のISPと契約」しているユーザーも1割以上の12.7%存在している。ブロードバンドのユーザーが従量課金制のダイヤルアップ接続利用時のISPを解約していない、モバイルで利用する際に自宅とは別のISPを利用している等、いくつかの理由が考えられる。

## Yahoo! BBがトップ、上位8社で6割強を占める

資料2-1-14 契約しているISP (複数回答) N=1,600

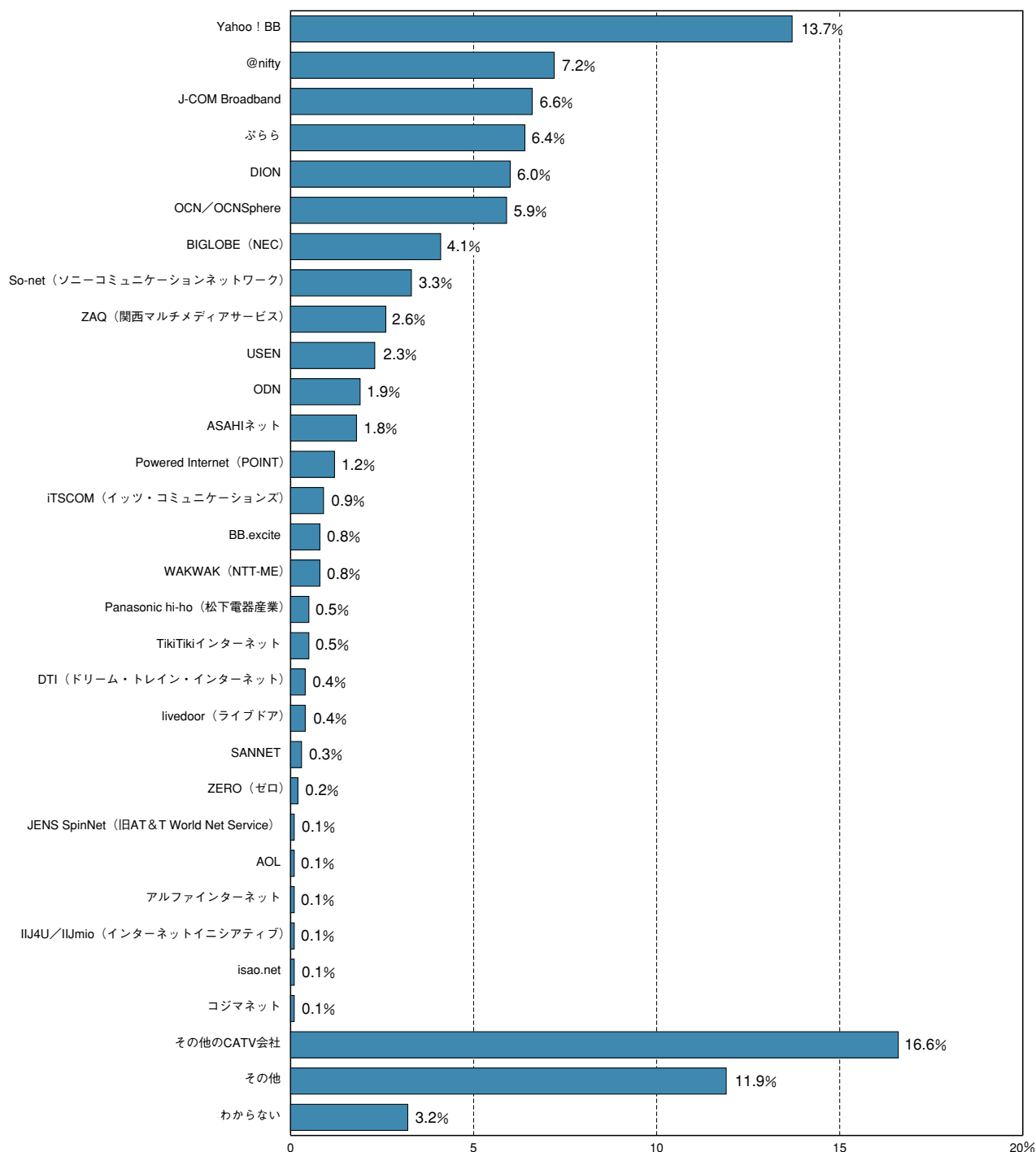


©impress,2005

契約しているISPは「Yahoo! BB」が13.9%でトップ、次いで「@nifty」が10.3%。以下、「ぶらら」「J-COM Broadband」「DION」「OCN/OCNSphere」「BIGLOBE」「So-net」が5~10%未満の間を僅差で続き、これら上位8社で6割強を占める。なお、今回の調査ではFTTH、ADSL、CATVの各利用者を500サンプルずつ、ダイヤルアップ利用者を100サンプルとして割り付け、回収した結果であることに注意されたい。

## 上位ISPには利用率が契約率を下回っているところも

資料2-1-15 最も利用しているISPランキング（単一回答） N=1,600



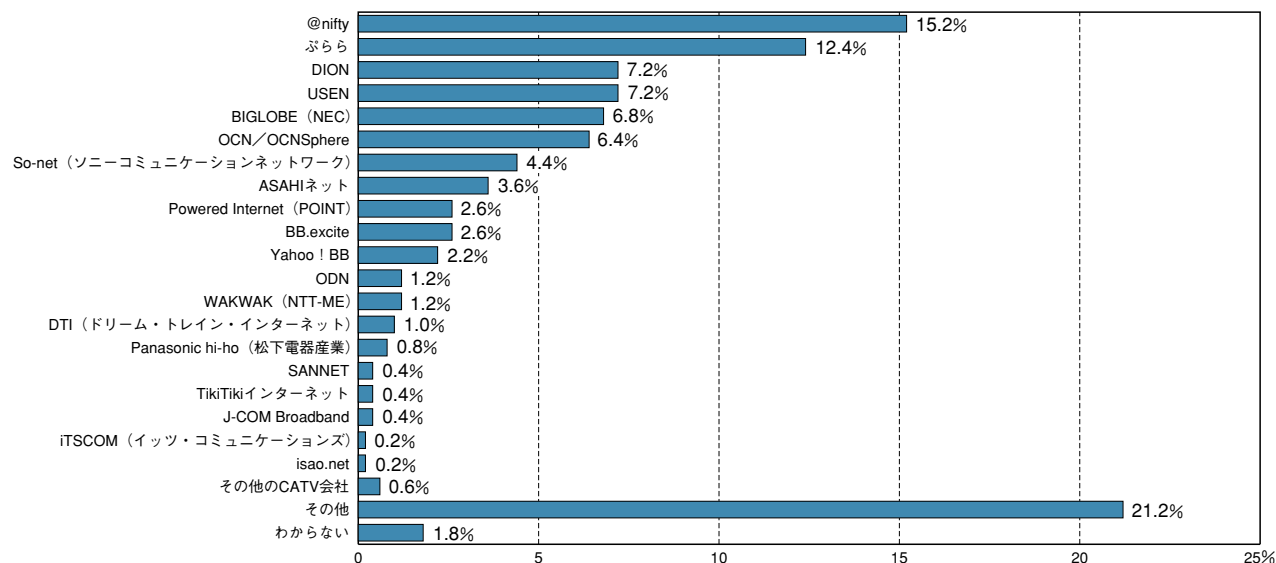
最も利用しているISPについてみると、契約ISPと同様「Yahoo! BB」が13.7%でトップ。2位も「@nifty」で変わらないが、契約率が10.3%であったのに対して最も利用している率は7.2%に減少している。また、7位の「BIGLOBE」、8位の「So-net」もわずかではあるが最も利用している率が契約率を下回っている。

©impress,2005

## ISP

## 光ファイバーは@niftyがトップ、市場拡大に伴うシェア変動にも注目

資料2-1-16 FTTH利用者が最も利用しているISPランキング（単一回答） N=500

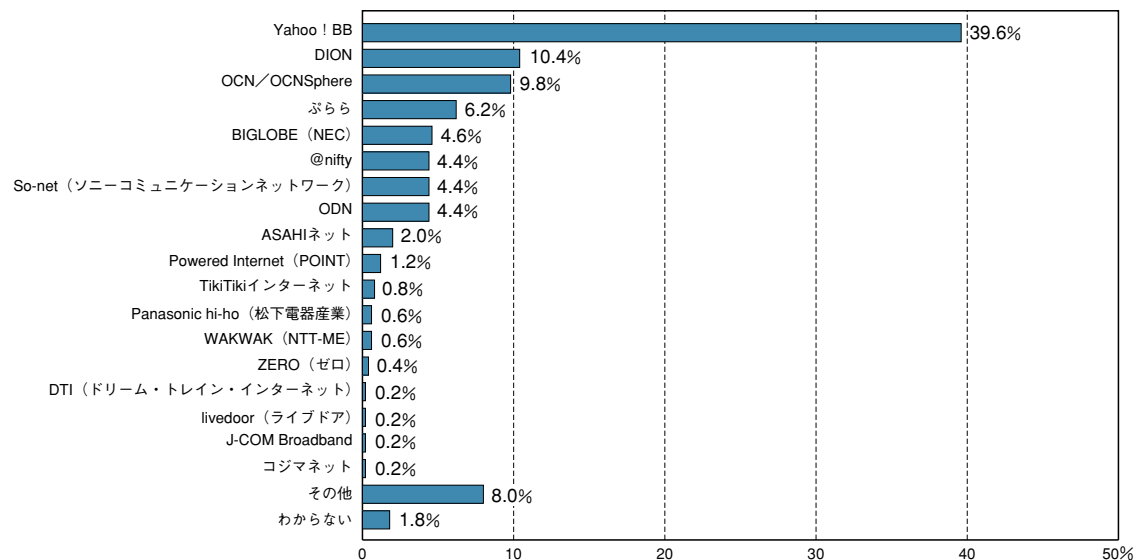


光ファイバー利用者が最も利用しているISPは、「@nifty」が15.2%でトップ、次いで「ぷらら」の12.4%となっている。以下、「DION」「USEN」「BIGLOBE」「OCN/OCNSphere」が6～7%台の間をわずかな差で続いている。光ファイバーはこれから伸びる市場ということもあり、ISPのシェアも今後変動が大きいものと思われる。

©impress,2005

## ADSL/xDSLはYahoo! BBの寡占状態

資料2-1-17 ADSL/xDSL利用者が最も利用しているISPランキング（単一回答） N=500

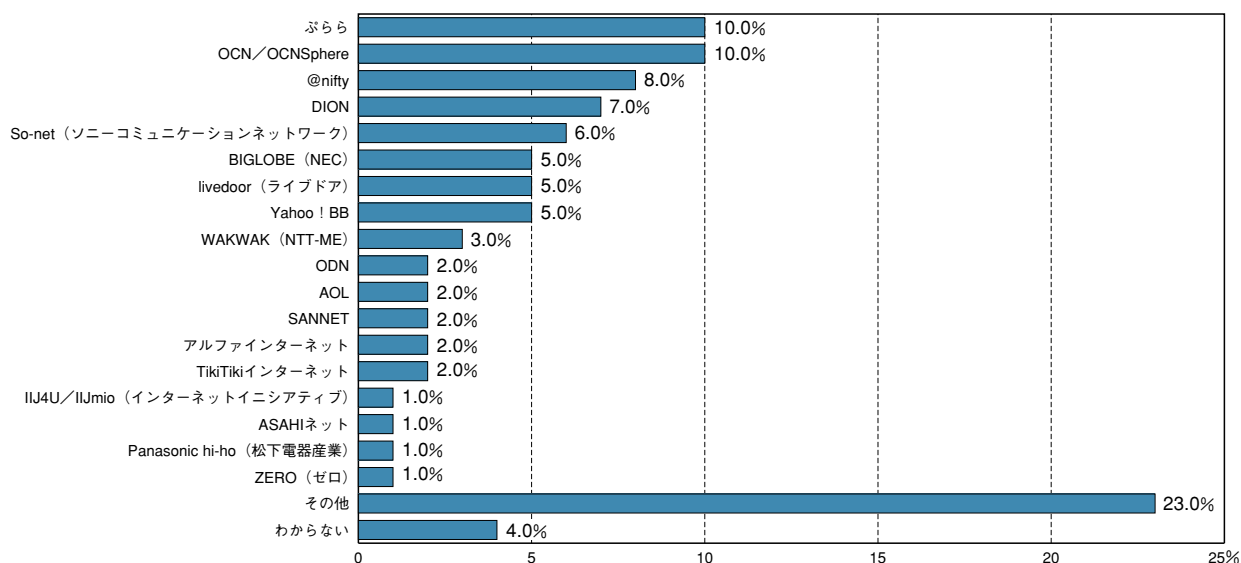


ADSL/xDSL利用者における最利用ISPでは、「Yahoo! BB」が39.6%と2位以下を大きく引き離してのトップで、寡占市場の様相を呈している。「DION」「OCN/OCNSphere」が10%前後で第2グループを形成。「ぷらら」「BIGLOBE」「@nifty」「So-net」「ODN」が第3グループを構成するというシェア構造となっている。

©impress,2005

## ダイヤルアップは「ぶらら」と「OCN/OCNSphere」が同率トップ

資料2-1-18 ダイヤルアップ利用者（ISDN/アナログモデム）が最も利用しているISPランキング（単一回答） N=100

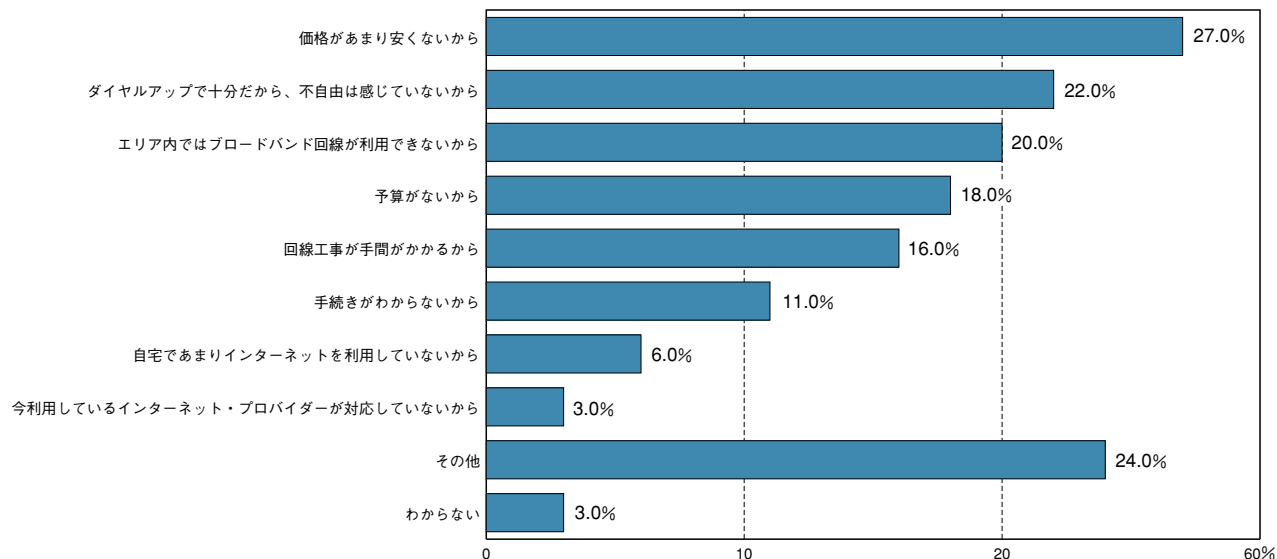


ダイヤルアップ利用者における最も利用しているISPでは、「ぶらら」と「OCN/OCNSphere」が10.0%で同率トップ。ダイヤルアップはトップシェアでも10%で、「その他」も23.0%となっており、ほかの接続回線に比べISPが分散しているといえる。

©impress,2005

## ブロードバンドの非利用はコスト面が主な要因

資料2-1-19 ダイヤルアップ（ISDN/アナログモデム）利用者のブロードバンド非利用理由（複数回答） N=100



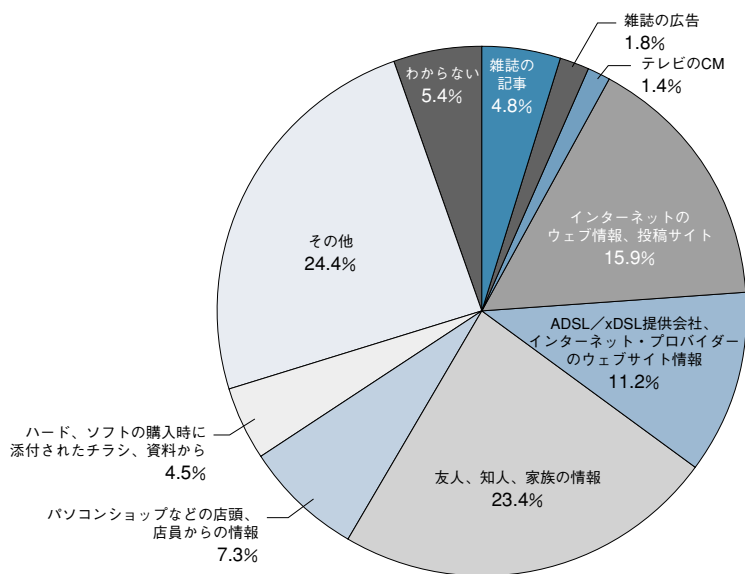
ダイヤルアップ（ISDN/アナログモデム）利用者のブロードバンド非利用理由は、「価格があまり安いから」が27.0%で最多。また「予算がないから」も18.0%で4位にあげられており、コスト面がネックでブロードバンドに乗り換えていないユーザーが多い。ほかでは「ダイヤルアップで十分だから、不自由は感じていないから」が22.0%、「エリア内ではブロードバンド回線が利用できないから」が20.0%、などの回答も多い。

©impress,2005

## ISP

## ISP選択はウェブ情報、投稿サイトを参考に客観的な視点で判断

資料2-1-20 ISP選択のために最も重視した情報源 N=1,600

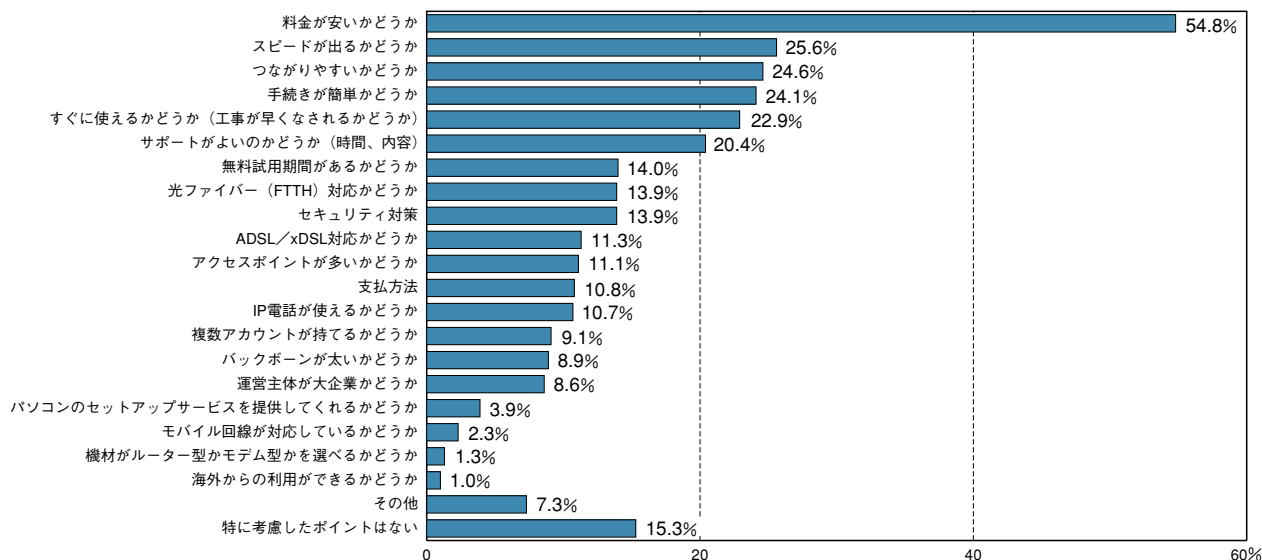


©impress,2005

ISP選択のための情報源は、「友人、知人、家族の情報」が23.4%と、昨年同様トップにあがっている。また、回線選択時に最も重視されていた「ADSL/xDSL提供会社、インターネット・プロバイダーのウェブサイト情報」が11.2%に対し、「インターネットのウェブ情報、投稿サイト」のほうが15.9%で上回っており、ISP選択に関してはより客観的な情報から判断したいとの意識がうかがえる。

## 料金の比較検討がトップながらも昨年よりは減少傾向

資料2-1-21 ISP選択の際に比較検討した事項（複数回答） N=1,600



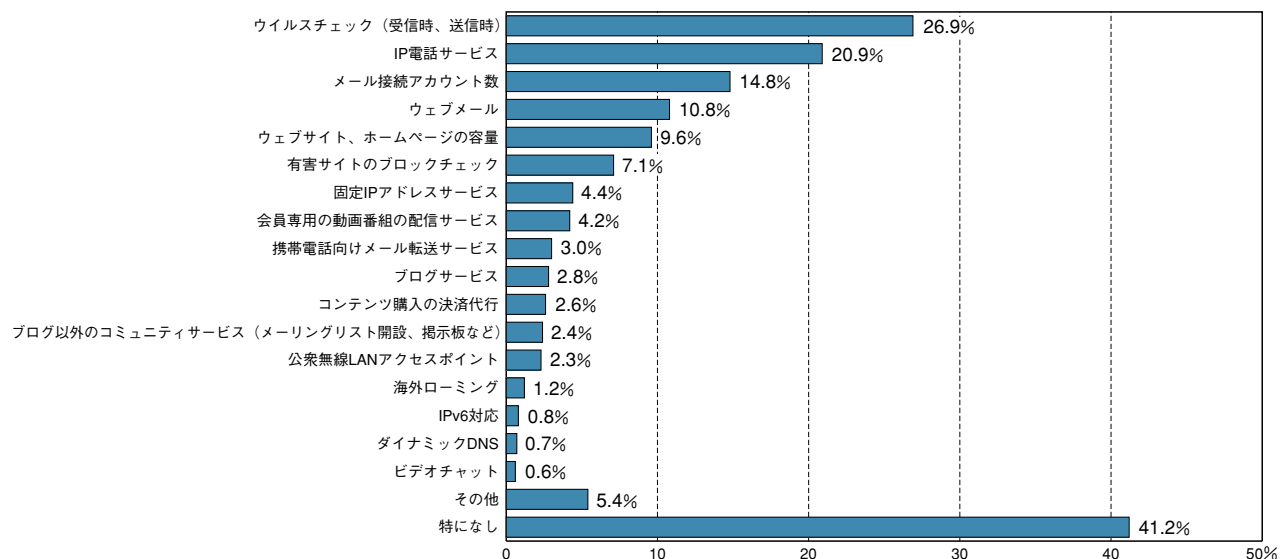
©impress,2005

ISP選択の際の比較検討事項は、昨年同様「料金が安いかどうか」が半数以上の54.8%で最多となっているが、昨年に比べ約9ポイント減少しており、価格以外の事項の検討が増えている。中でも2位の「スピードが出るかどうか」、4位の「手続きが簡単かどうか」、5位の「すぐに使えるかどうか（工事が早くなされるかどうか）」などが昨年を上回っている。



## ISPの付加価値サービスへの期待は低くなる傾向に

資料2-1-22 ISPの評価できる付加価値サービス（複数回答） N=1,600

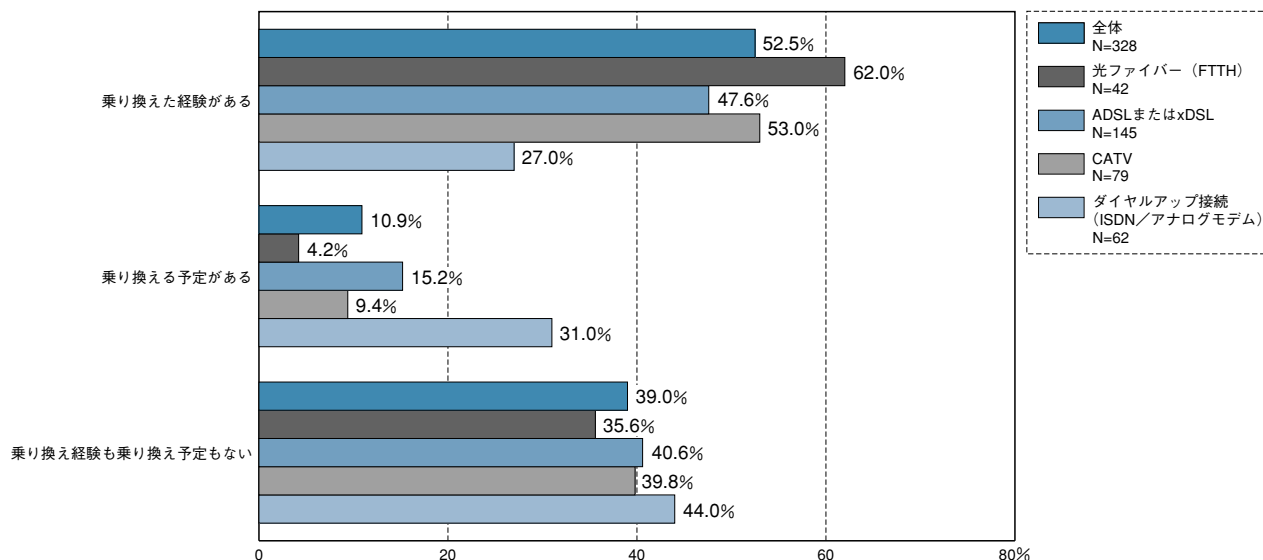


評価できるISPの付加価値サービスは、「ウイルスチェック」が26.9%で最多、「IP電話サービス」が20.9%でそれに次いでいる。しかし、いずれも昨年を下回っている。逆に「特になし」が41.2%と昨年を10ポイント以上上回っており、ISPの付加価値サービスに対する期待値が徐々に低くなる傾向が見受けられる。

©impress,2005

## ISP乗り換え予定者はダイヤルアップ利用者で3割

資料2-1-23 ISP乗り換え状況（複数回答）



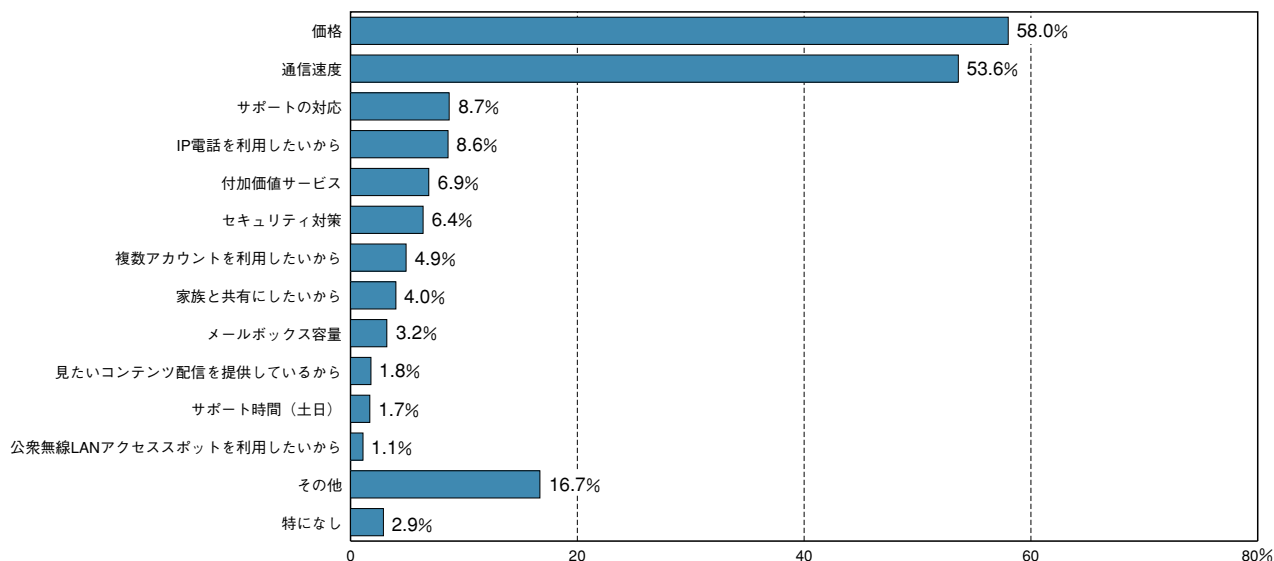
ISPの乗り換え経験については、半数以上の52.5%が「乗り換えたことがある」と回答しており、昨年よりも5ポイント上昇した。特に光ファイバー利用者で乗り換え経験が多く、回線変更にともないISPも変更する様子が見え始める。一方、今後の乗り換え予定については、10.9%が「乗り換える予定がある」と回答。特にダイヤルアップ接続利用者が31.0%と、ISP乗り換え意向が高い。

©impress,2005

## ISP

## 価格と通信速度が2大要因、ただし価格は昨年より減少気味

資料2-1-24 ISP乗り換え理由（複数回答） N=976

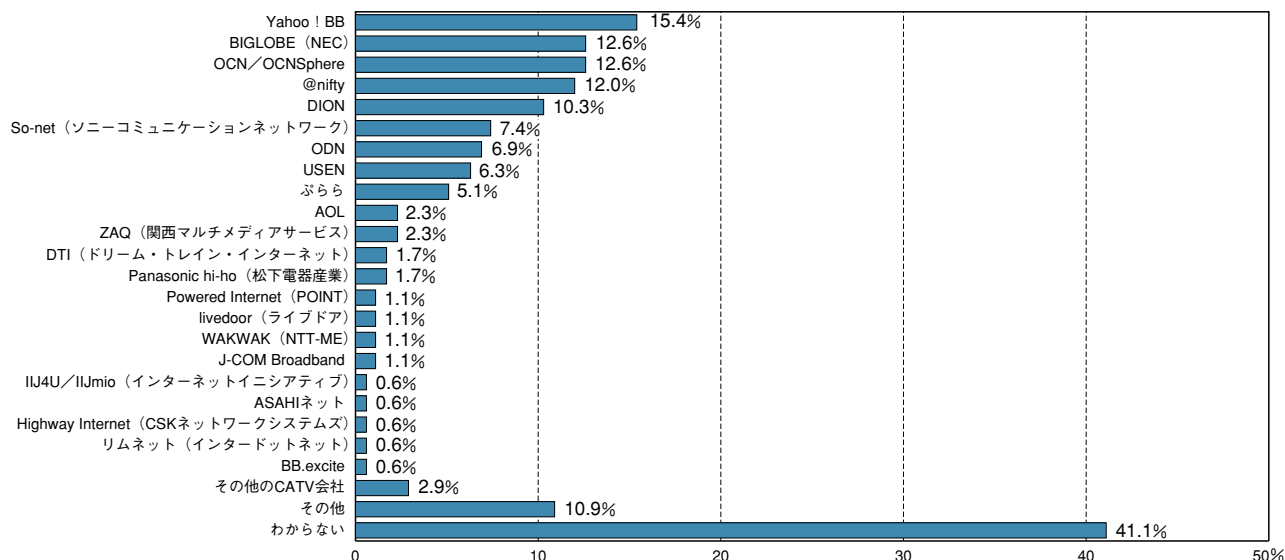


ISPの乗り換え経験者および乗り換え予定者における乗り換えの理由は、「価格」が58.0%、「通信速度」が53.6%で、この2つが乗り換えの2大要因となっている。これは昨年と同様の結果であるが、ISPの比較検討事項で料金面をあげた人が減少したように、乗り換え理由についても「価格」は昨年より約4ポイント減少している。

©impress,2005

## ISPの乗り換え予定はあるものの4割は浮動層

資料2-1-25 今後乗り換え予定のISP（複数回答） N=175



今後乗り換えを予定している人の乗り換え予定ISPは、「Yahoo! BB」が15.4%でトップ。以下、「BIGLOBE」「OCN/OCNSphere」「@nifty」「DION」が僅差が続いている。しかし「わからない」が41.1%と4割以上を占めており、現在のISPに対しては満足しておらず乗り換えたいが、どのISPなら満足できそうかわからないというユーザーが少なくない。

©impress,2005



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)